

---

# 二つのツバサ

ロースト

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

一つのツバサ

### 【著者名】

N4031M

ロースト

### 【あらすじ】

蝶は毎夜暗闇の泉に華を啄ばむ。

幻想的で、捕らわれた象徴。

僕らはここから出て行こう。世界を知るために。

死に出ずる国でなく、命の芽生える楽園を探しに。

深い闇に覆われた昏い森

その中央に目立つ、光を放つかのよくな湖

透明感のある水。

しかし底は測れないほど深い。

畔にはあしの長い草が生え、雰囲気だけでも言つならば沼のよう。

小さく白い、名も泣き花。

足元に少しだけ、長い草たちに隠れるよひ生きている。

水中、気泡が幾つも出来、昇っていく。

光を望むかのように伸ばした手は何も掴まず。

身体は絡まる水草に引きずられ浮かばない。

届きそうで、届かない。

その距離が薄くて、透明で、でも決定的な違い。

別種、別次元。

深い底に眠る蝶は

ひらり ひらり

青空に飛びこみを望み、幻想に飛び  
ぱたぱた と命尽きるよくな地に這い蹲り夢を見る。  
蛹から、空を見ることなく眠つてゆく

永遠の眠り、深く、深く

未だ見ぬ蒼を思い描きながら

脆く、儚く、過ぎてゆく日々と世界

人は無力で、争いは絶えない

それでも平穀を望み、平和を探してゆく

快く生きるため、羽ばたいてゆくためのツバサはどこにある?

私に光のツバサを与えて、世界を生きてゆく術を

一つだけ、大切な、愛する人のために願つた想い  
もう始まっている、樂園はいつか、遠くない未来に  
私と貴方、一緒に歩める世界、今を越えてゆこう  
生れ落ちた新しい命、小さな花  
僕らを見守つている

約束する僕らの未来、明るい世界

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4031m/>

---

二つのツバサ

2010年10月9日04時40分発行